



2018年12月期 第3四半期
決算説明資料

2018年11月13日

株式会社ソディック

A solid green horizontal bar at the bottom of the page.

I. 2018年12月期 3Q決算概要	3
II. 2018年12月期 通期業績予想	13
(参考資料)	20

I. 2018年12月期 3Q決算概要

※前期（2017年度）は決算期変更の経過期間となり、
2017年12月期3Qについては連結財務諸表を作成しておりません。

※比較参考数値として、当3Q（2018年1月1日から9月30日）に対応する
前年の同一期間（2017年1月1日から9月30日）で、
全社の連結対象期間を統一し調整した数値を記載しています。

※比較参考数値は監査法人の監査を受けていない参考数値です。

業績ハイライト



- ✓ 中国において春節休暇明けから放電加工機の販売が好調に推移し、売上高は概ね期初計画通りに進捗。
- ✓ 放電加工機の販売台数が大幅に増加したほか、生産性が向上したことにより、売上総利益率が改善。

(百万円)

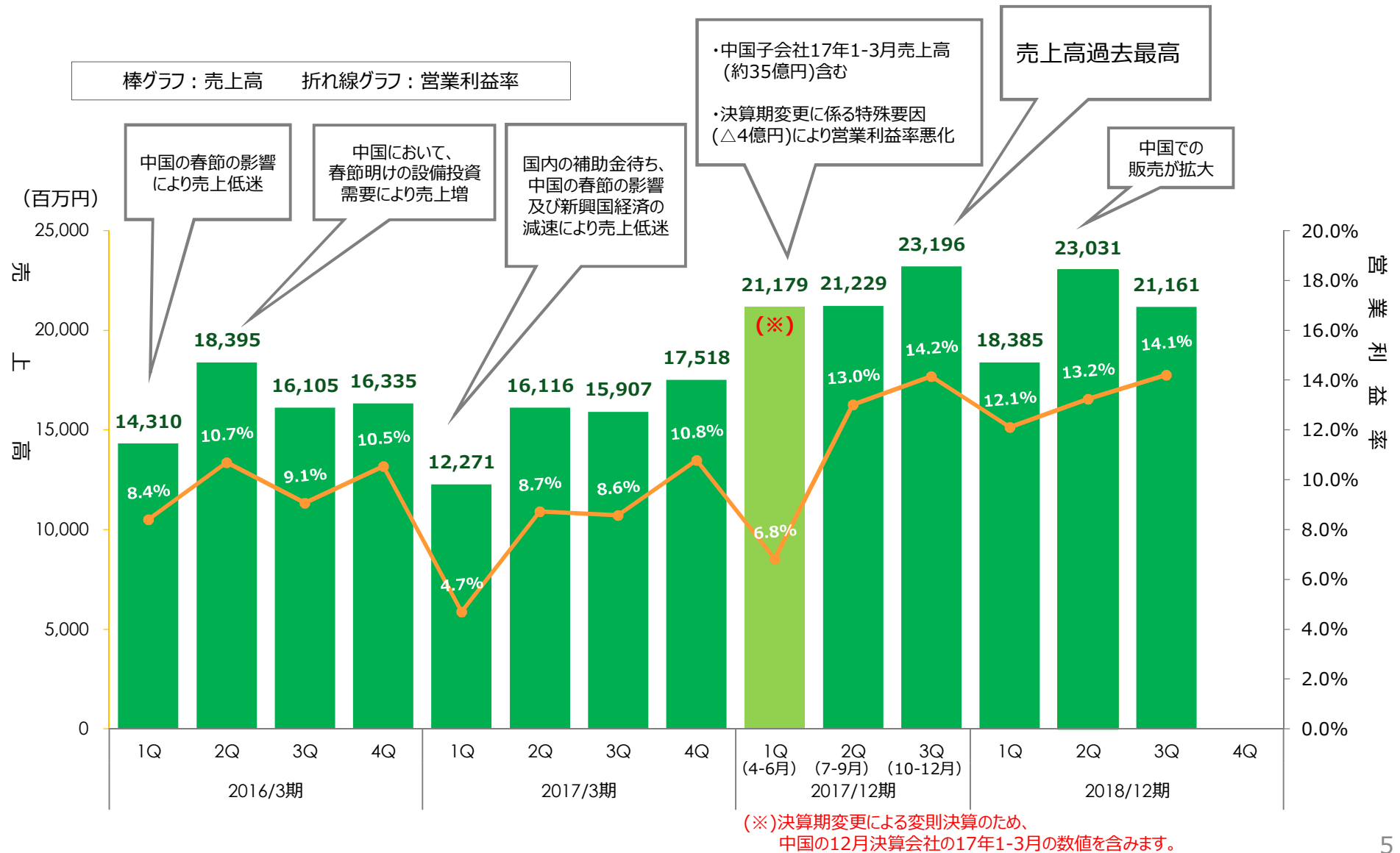
	2017年1~9月 (※)		2018年12月期 3Q		増減		2018年12月期 通期予想 (11/13修正)
	実績	利益率	実績	利益率	金額	率	
売上高	55,543	-	62,577	-	7,034	12.7%	80,000
売上総利益	19,767	35.6%	23,368	37.3%	3,600	18.2%	-
営業利益	5,738	10.3%	8,253	13.2%	2,515	43.8%	10,000
経常利益	5,785	10.4%	8,088	12.9%	2,303	39.8%	10,000
純利益	3,941	7.1%	5,632	9.0%	1,691	42.9%	6,800
	売上高比率		売上高比率				
設備投資額	2,846	5.1%	5,552	8.9%			8,000
減価償却費	2,281	4.1%	2,283	3.6%			3,300
研究開発費	3,108	5.6%	3,017	4.8%			4,200
期中平均 為替レート	ドル	111.89 円	109.60 円				111.00 円
	ユーロ	124.58 円	130.87 円				131.00 円
	人民元	16.47 円	16.84 円				16.70 円
	バーツ	3.27 円	3.41 円				3.40 円

※参考情報 2018年9月末 為替レート ドル：113.57円 ユーロ：132.14円 人民元：16.50円 バーツ：3.50円
2017年9月末 為替レート ドル：112.73円 ユーロ：132.85円 人民元：16.96円 バーツ：3.38円

※監査法人による監査を受けていない参考数値

売上高・営業利益率推移（四半期毎）

✓ 放電加工機の販売が堅調に推移したほか、生産性が向上したことにより、売上高・利益共に高い水準を確保。



セグメント別業績



(百万円)

	2017年 1~9月 (※)	2018年12月期 3Q	増減		
			実績	実績	(額)
売上高	● 工作機械事業	39,751	45,117	5,366	13.5%
	● 産業機械事業	9,269	7,736	△ 1,533	△ 16.5%
	● 食品機械事業	2,461	4,934	2,473	100.5%
	● その他事業	4,061	4,789	727	17.9%
		55,543	62,577	7,034	12.7%
セグメント 利益	● 工作機械事業	5,912	8,033	2,121	35.9%
	● 産業機械事業	1,199	604	△ 594	△ 49.6%
	● 食品機械事業	△ 115	618	733	-
	● その他事業	685	931	246	36.0%
		7,681	10,189	2,507	32.6%
調整額	△ 1,943	△ 1,935	7	△ 0.4%	
営業利益 合計	5,738	8,253	2,515	43.8%	

工作機械事業

- ✓ 中国は、ものづくりの高度化や自動化対応、電動化が進む自動車関連、半導体関連を中心に販売は伸長したが、スマートフォン関連向けの縮小と米中貿易摩擦による投資判断の先送りなどにより足元では減速感あり。
- ✓ 北米は自動車関連で堅調。
- ✓ 国内は自動車及び半導体関連が引き続き堅調。
- ✓ 欧州（ドイツ、イタリア、イギリス）は、自動車、航空宇宙関連で需要あり。
- ✓ その他アジア地域（タイ、インド、マレーシア等）は自動車関連が底堅く推移。

産業機械事業

- ✓ 日本はコネクタ、センサー部品などの自動車関連が堅調。
- ✓ 北米は医療機器関連を中心に引き続き安定した需要あり。
- ✓ 中国、アジアは足元での需要に一服感があり。

食品機械事業

- ✓ 調理麺の品質向上のための設備投資需要は中国での大口案件を含め、引き続き堅調。
- ✓ 日本及びアジアで包装米飯製造装置の需要増加。

その他事業

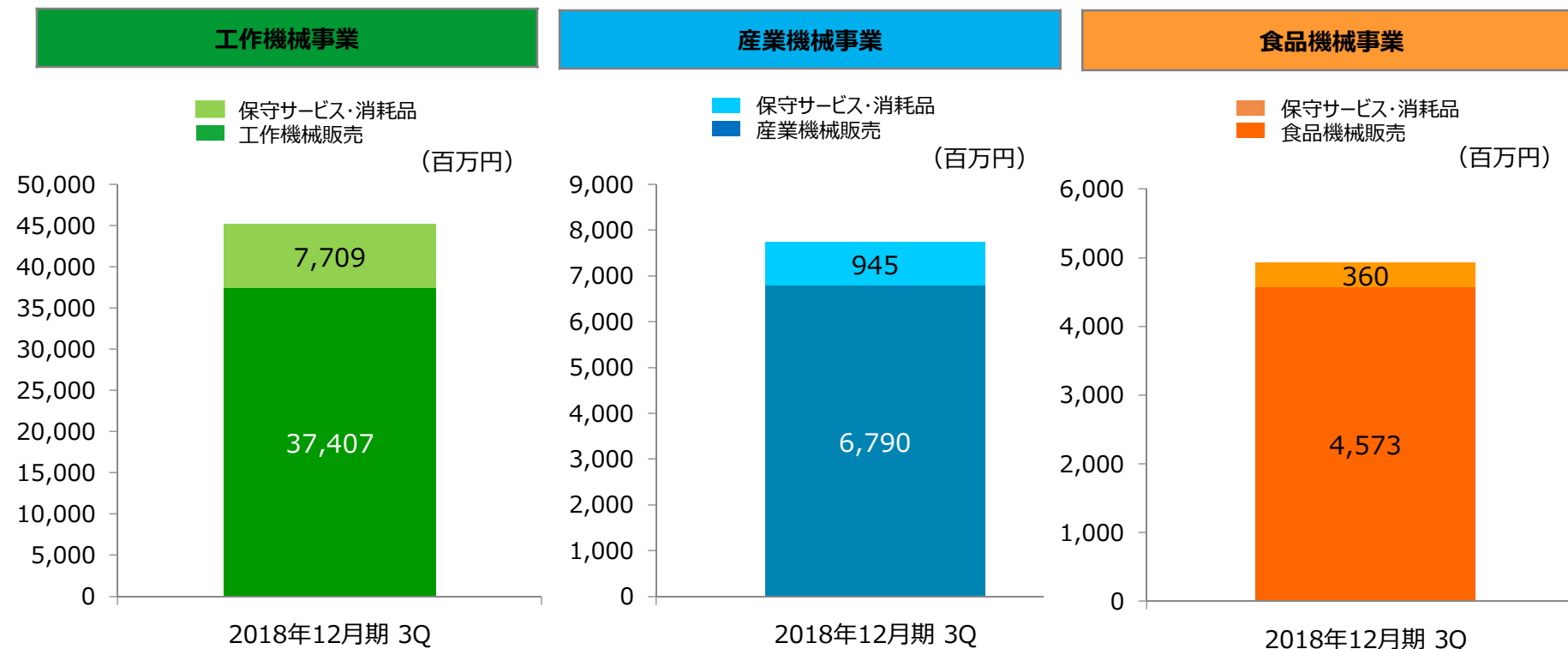
- ✓ 精密金型・精密成形事業は金属3Dプリンタで造形した金型とその専用射出成形機を使った高精密度金型成形の開発に取組中。
- ✓ 半導体製造装置向けを中心にセラミックスの販売が好調。

※監査法人による監査を受けていない参考数値

セグメント別 売上高内訳



✓ 安定キャッシュを生み出す保守サービス・消耗品の売上高は16%程度を占める。



工作機械事業	2018年12月期 3Q	
工作機械販売	37,407	82.9%
保守サービス・消耗品	7,709	17.1%
合計	45,117	100%

産業機械事業	2018年12月期 3Q	
射出成形機販売	6,790	87.8%
保守サービス・消耗品	945	12.2%
合計	7,736	100%

食品機械事業	2018年12月期 3Q	
食品機械販売	4,573	92.7%
保守サービス・消耗品	360	7.3%
合計	4,934	100%

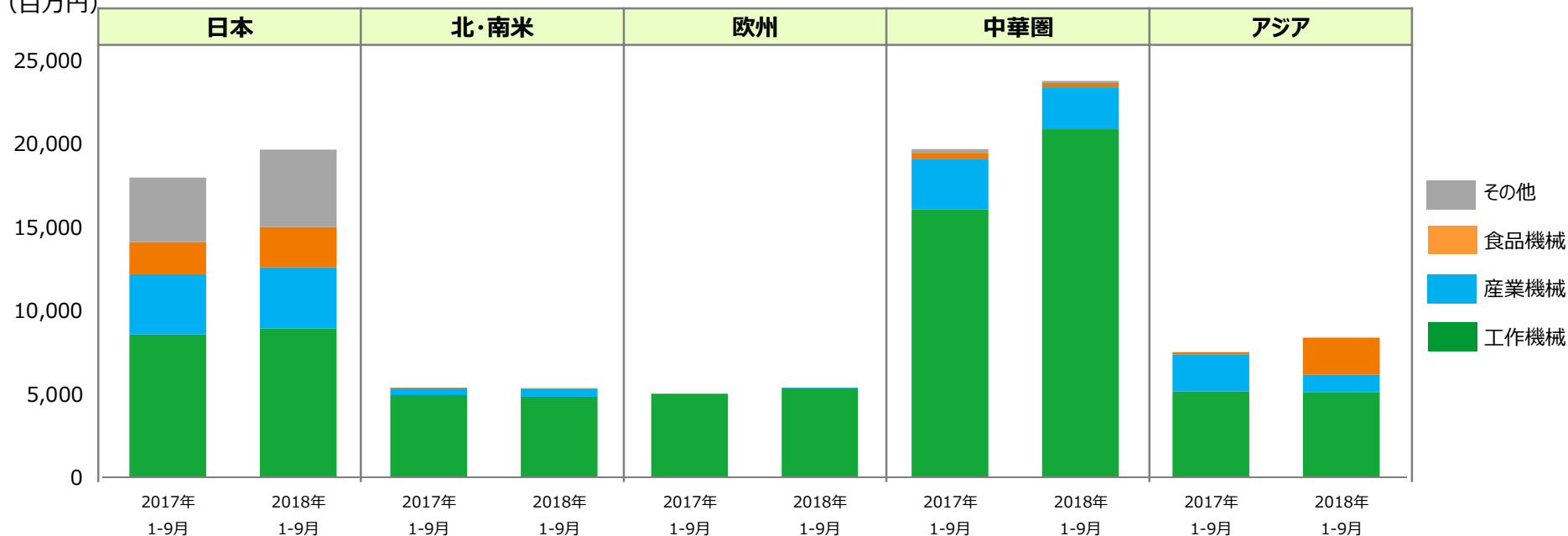
※決算期変更に伴い、2017年12月期第3四半期の連結財務諸表を作成していないため、2018年12月期第3四半期の数値のみ記載しています。

事業別海外売上高比率



✓ グローバルに事業を展開、海外売上高比率は68.5%

(百万円)



(百万円)

2017年1-9月 (※)	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	8,583	21.6%	4,939	12.4%	4,998	12.6%	16,078	40.4%	5,151	13.0%	39,751	71.6%
産業機械	3,616	39.0%	431	4.6%	0	0.0%	2,997	32.4%	2,222	24.0%	9,269	16.7%
食品機械	1,909	77.6%	20	0.8%	-	-	401	16.3%	129	5.3%	2,461	4.4%
その他	3,858	95.0%	-	-	-	-	203	5.0%	-	0.0%	4,061	7.3%
地域別計	17,968	32.3%	5,391	9.7%	4,998	9.0%	19,681	35.5%	7,503	13.5%	55,543	100.0%

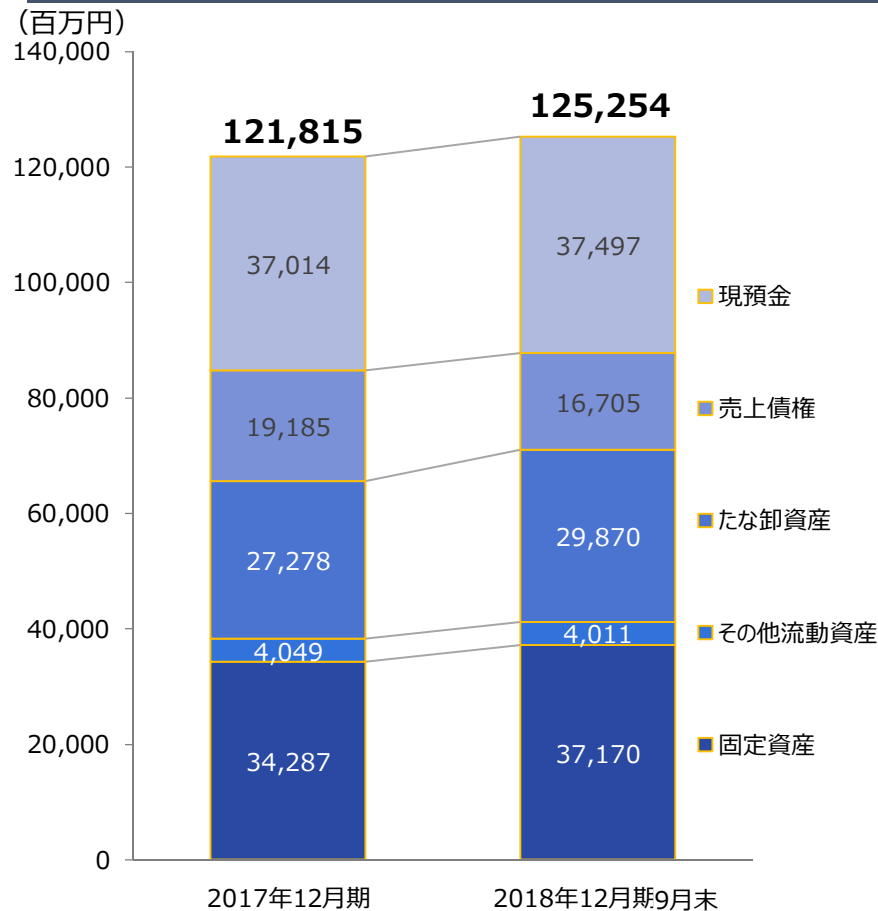
2018年1-9月	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	8,936	19.8%	4,840	10.7%	5,351	11.9%	20,878	46.3%	5,109	11.3%	45,117	72.1%
産業機械	3,662	47.3%	493	6.4%	43	0.6%	2,498	32.3%	1,038	13.4%	7,736	12.4%
食品機械	2,420	49.1%	9	0.2%	-	-	261	5.3%	2,242	45.4%	4,934	7.9%
その他	4,652	97.1%	-	-	-	-	137	2.9%	-	0.0%	4,789	7.7%
地域別計	19,672	31.5%	5,343	8.5%	5,395	8.6%	23,775	38.0%	8,390	13.4%	62,577	100.0%

※監査法人による監査を受けていない参考数値

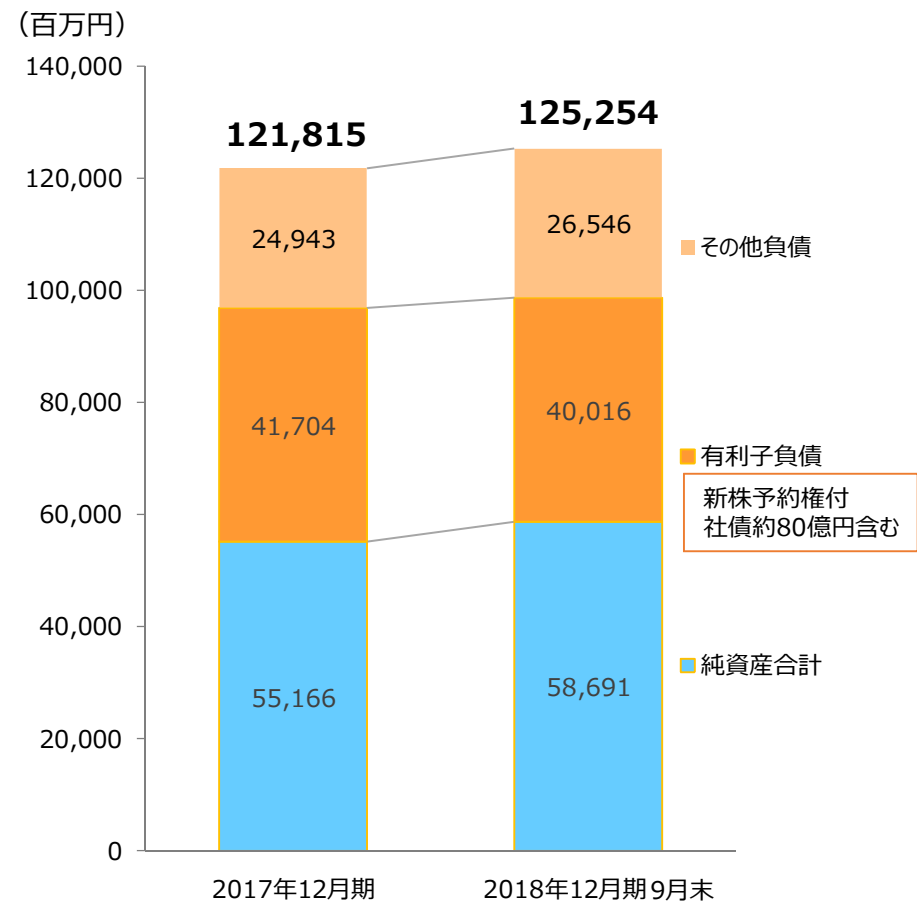
貸借対照表

- ✓ 国内外の積極的な設備投資に伴い、固定資産が大幅に増加。
 (加賀マルチファクトリー、物流センター、本社2号棟(研究棟)、北米販社新オフィス、欧州販社新オフィス用土地、タイ工場第2工場増設、宮崎工場(精密金型精密成形事業)など)
- ✓ ネット有利子負債は25億19百万円(前期末比21億70百万円減少)

資産



負債・純資産



※参考情報 2018年9月末 為替レート ドル：113.57円 ユーロ：132.14円 人民元：16.50円 バーツ：3.50円
 2017年12月末 為替レート ドル：113.00円 ユーロ：134.94円 人民元：17.29円 バーツ：3.45円

1 高速造形対応 金属3Dプリンタ「LPM325」開発

多様化する金属3Dプリンタ製品のニーズに対応するため、金属粉末の溶融凝固による3D造形加工と、造形した加工物への基準面加工を1台の機械で行う金属3Dプリンタ「LPM325」を新たにラインナップに加えました。

「LPM325」は、金属造形と二次加工用の基準面だけを加工する機能に限定することにより、チャンバーが小型化され、窒素濃度の管理やヒュームの処理がしやすくなったことで、造形速度が大幅に向上致しました。

また、二次加工（切削）用の基準面が取れることにより、切削時間を低減することが出来るなど、高速造形が求められる部品加工分野に適した製品となっております。

※製品の詳細につきましては、以下プレスリリースをご参照下さい。

URL : https://www.sodick.co.jp/pdf/180719063747_LPM325_release_sodick.pdf



▲LPM325

2 要素技術を結集しナノ領域加工の最上級を極める ナノマシニングセンタ「AZ275nano」開発

ナノ領域での安定した超微細・超精密加工をさらに高速で実現した、次世代のナノテクノロジーを支えるリニアモータ駆動ナノマシニングセンタです。

荒加工から仕上げ加工までの幅広い加工ニーズに対応し、XY軸ストロークアップによる加工領域の拡張と高効率化を実現しています。小型化・多機能化の進むスマートフォンやタブレット端末、微細化・精密化が高度なレベルで要求される医療機器・バイオテクノロジー分野においての要望にお応えいたします。

※製品の詳細につきましては、以下プレスリリースをご参照下さい。

URL : https://www.sodick.co.jp/pdf/180927193607_NewsRelease_AZ275nano_20180927.pdf



▲AZ275nano

3 リニアモータ駆動 高速・超精密 大型ワイヤ放電加工機「AL800P」の開発

精密金型、精密部品加工分野において好評を頂いているワイヤ放電加工機「ALシリーズ」のラインナップに、高精度化・高速化に優れた大型機「AL800P」を開発いたしました。

自動車業界でのEV化の普及や適応モデルの拡張に伴い、重要パーツであるモーターコアやリチウムイオン電池のセパレータ関連の精密プレス金型の高度化及び長尺化に対応できます。

大開口のフルカバー、独立式操作パネル、三面自動上下式加工タンクを標準装備し、大型ワークのセッティングなどを含む段取り作業の効率化を通じ生産性向上に寄与します。

※製品の詳細につきましては、以下プレスリリースをご参照下さい。

URL : https://www.sodick.co.jp/pdf/180928190908_NewsRelease_AL800P_20180928.pdf



▲AL800P

4 リニアモータ駆動 高速・超精密 形彫り放電加工機「AP30L」の開発

リニアモータ駆動形彫り放電加工機のフラグシップ「APシリーズ」の新製品として、超精密加工領域における性能に磨きをかけ、高速・高効率加工を実現する「AP30L」を開発いたしました。

総合温度管理の思想を組み込んでおり、設置環境の温度変化や高速駆動時の発熱を最小限に抑制します。

「AP30L」は最高品質の金型を最小のコストで実現できる、これからのものづくりをリードする画期的な性能を発揮します。

※製品の詳細につきましては、以下プレスリリースをご参照下さい。

URL : https://www.sodick.co.jp/pdf/180925213807_NewsRelease_AP30L_20180925.pdf



▲AP30L

1 IMTS 2018（International Manufacturing Technology Show）出展

アメリカ シカゴで開催された世界三大工作機械見本市の一つである「IMTS2018」に出展いたしました。3Dプリンタについての展示規模が拡大する中、当社も精密金属3DプリンタOPM350Lを出展し、加工実演及びプレゼンテーションを行い、多くの引き合いを頂きました。当社ブースは多くのお客様にご来場いただき、活況となりました。

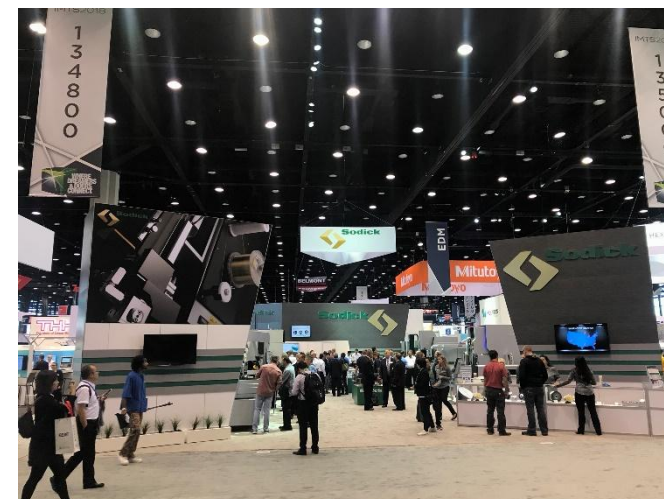
【IMTS2018 概要】

開催場所：McCormick Place（Chicago, IL, USA）

開催期間：2018/9/10-15（6日間）

出展機種：超高速細穴加工機「K6HL」、精密金属3Dプリンタ「OPM350L」、
形彫り放電加工機「AG60L+Robot」・「ADシリーズ」、
ワイヤ放電加工機「ALNシリーズ」・「VLシリーズ」、ハイスピードミーリングセンタ「UH650L」等

来場者数：129,415人（2016年：115,612人）



2 JIMTOF 2018（第29回日本工作機械見本市）出展

東京ビッグサイトにて開催された世界三大工作機械見本市の一つである「JIMTOF 2018」に出展いたしました。

初お披露目となる高速造形 金属3Dプリンタ「LPM325」やリニアモータ駆動 高速・超精密 形彫り放電加工機「AP30L」の紹介を行ったほか、ユーザーの生産性向上に貢献する新技術、新製品をご紹介しました。

【JIMTOF 2018 概要】

開催場所：東京ビッグサイト

開催期間：2018/11/1-6（6日間）

出展機種：精密金属3Dプリンタ「LPM325」、ワイヤ放電加工機「AL800P」、
形彫り放電加工機「AP30L」、ナノマシニング「AZ275nano」、電動射出成形機「MS50」等

来場者数：153,103人（2016年：147,602人）

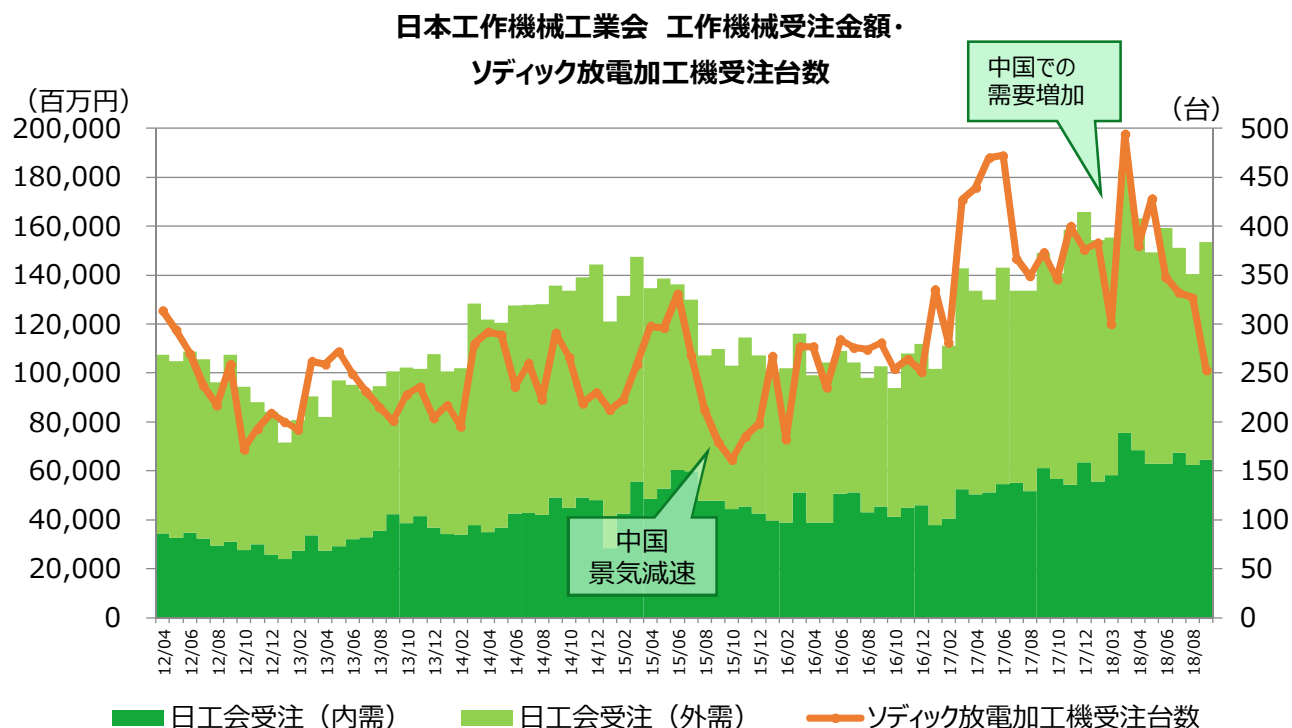


Ⅱ. 2018年12月期 業績予想

市場環境

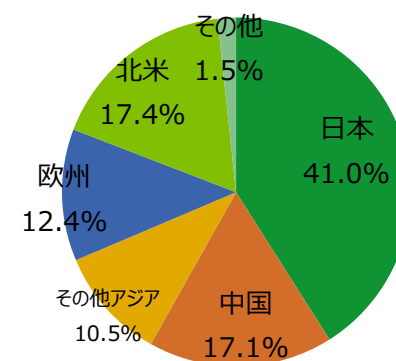


- ✓ 国内：政府の補助金政策や老朽化設備の更新需要により、堅調な需要は継続する見通し。
- ✓ 北米：法人税減税政策により、自動車、航空宇宙、医療機器関連を中心に設備投資需要が増加する見通し。
- ✓ 欧州：トルコなどの地域では減速感が見られる他、イギリスのEU離脱問題などもあり先行きに不透明感はあるものの、自動車、航空宇宙関連の需要は堅調に推移する見通し。
- ✓ 中国：ものづくりの高度化、人件費の高騰を背景とした自動化ニーズの高まり等もあり、自動車関連を中心に高精度な機械の需要は継続するものの、米中貿易摩擦などの影響により設備投資需要が減速し不透明感が高まっている。
- ✓ アジア：タイ、マレーシアなどでは自動車関連を中心に回復基調が継続する見通し。



出典：日本工作機械工業会

日本工作機械工業会
工作機械 地域別受注構成比
(2018年1月-2018年9月累計)



出典：日本工作機械工業会

2018年12月期 通期業績予想



- ✓ 第3四半期累計期間の業績が当初計画を上振れて進捗しているものの、米中の貿易摩擦の影響等もあり、足元で受注動向に減速感が見られていることから、第4四半期は売上・利益共に伸び悩む見通し。

(百万円)

	2018年12月期 通期		2018年12月期 通期		増減	
	当初予想 (2/14公表)	利益率	修正予想	利益率	金額	増減率
売上高	81,000	-	80,000	-	△1,000	△1.2%
営業利益	8,000	9.9%	10,000	12.5%	2,000	25.0%
経常利益	8,000	9.9%	10,000	12.5%	2,000	25.0%
当期純利益	5,700	7.0%	6,800	8.5%	1,100	19.3%

期中平均 為替レート	ドル	112.00 円	111.00 円
	ユーロ	132.00 円	131.00 円
	人民元	16.90 円	16.70 円
	バーツ	3.40 円	3.40 円

※2018年12月期 通期業績予想を修正しております。
詳細につきましては、平成30年11月13日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2018年12月期 通期業績予想



- ✓ 第3四半期累計期間の業績が当初計画を上振れて進捗しているものの、米中の貿易摩擦の影響等もあり、足元で受注動向に減速感が見られていることから、第4四半期は売上・利益共に伸び悩む見通し。

(百万円)

	2018年12月期 3Q		2018年12月期 通期		進捗率	2017年12月期 (全社1-12月 換算) 実績
	実績	利益率	修正予想	利益率		
売上高	62,577	-	80,000	-	78.2%	78,714
営業利益	8,253	13.2%	10,000	12.5%	82.5%	9,161
経常利益	8,088	12.9%	10,000	12.5%	80.9%	9,384
当期純利益	5,632	9.0%	6,800	8.5%	82.8%	6,664
	売上高比率		売上高比率			
設備投資額	5,552	8.9%	8,000	10.0%		
減価償却費	2,283	3.6%	3,300	4.1%		
研究開発費	3,017	4.8%	4,200	5.3%		
期中平均 為替レート	ドル	109.60円		111.00円		112.16円
	ユーロ	130.87円		131.00円		126.70円
	人民元	16.84円		16.70円		16.62円
	バーツ	3.41円		3.40円		3.31円

※2018年12月期 通期業績予想を修正しております。
詳細につきましては、平成30年11月13日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

セグメント別 通期業績予想



(百万円) **工作機械事業**

	2018年12月期 通期		増減		
	当初予想 (2/14公表)	修正予想	金額	増減率	
売上高	● 工作機械事業	57,000	56,000	△ 1,000	△1.8%
	● 産業機械事業	12,100	10,500	△ 1,600	△13.2%
	● 食品機械事業	5,900	6,800	900	15.3%
	● その他事業	6,000	6,700	700	11.7%
		81,000	80,000	△ 1,000	△1.2%
セグメント利益	● 工作機械事業	8,370	10,000	1,630	19.5%
	● 産業機械事業	1,000	700	△ 300	△30.0%
	● 食品機械事業	550	800	250	45.5%
	● その他事業	680	1,000	320	47.1%
		10,600	12,500	1,900	17.9%
調整額	△ 2,600	△ 2,500	100	-	
営業利益 合計	8,000	10,000	2,000	25.0%	

- ✓ 国内は老朽化設備の更新需要もあり堅調に推移する見通し。
- ✓ 北米は一服感が見られるものの、欧州は設備投資需要は堅調に推移する見通し。
- ✓ 中華圏は、米中貿易摩擦による投資判断の先送りなどにより、受注・販売が減速する見通し。
- ✓ タイ・マレーシアなどの自動車関連を中心に堅調に推移する見通し。

産業機械事業

- ✓ 国内市場は自動車、電子部品、半導体関連を中心に堅調に推移する見通し。
- ✓ 中華圏およびアジア地域ではスマートフォン、コネクタ関連向けの高精度な機械需要が増加しており、高い受注水準が継続する見通し。

食品機械事業

- ✓ 高品質な麺需要が引続き見込まれるほか、製菓、包装米飯・包装惣菜など製麺業界以外の販売が拡大していく見通し。

その他事業

- ✓ 精密金型・精密成形事業及びセラミックスの外販も引き続き堅調に推移する見通し。

※業績予想の修正に伴い、セグメント別通期業績予想についても一部修正しております。

セグメント別 通期業績予想



		2018年12月期	2018年12月期	通期計画 進捗率	(百万円)	
		3Q 実績	通期予想		2017年12月期 (全社1-12月)	実績
売上高	● 工作機械事業	45,117	56,000	80.6%		
	● 産業機械事業	7,736	10,500	73.7%		
	● 食品機械事業	4,934	6,800	72.6%		
	● その他事業	4,789	6,700	71.5%		
		62,577	80,000	78.2%		
セグメント利益	● 工作機械事業	8,033	10,000	80.3%		
	● 産業機械事業	604	700	86.3%		
	● 食品機械事業	618	800	77.3%		
	● その他事業	931	1,000	93.1%		
		10,189	12,500	81.5%		
調整額		△ 1,935	△ 2,500	77.4%		
営業利益 合計		8,253	10,000	82.5%		
					2017年12月期 (全社1-12月)	実績
						55,796
						12,721
						4,435
						5,760
						78,714
						9,300
						1,471
						127
						846
						11,745
						△ 2,583
						9,161

工作機械事業

- ✓ 国内は老朽化設備の更新需要もあり堅調に推移する見通し。
- ✓ 北米は法人税減税政策等により設備投資需要の増加が見込まれているほか、欧州も設備投資需要は堅調に推移する見通し。
- ✓ 中華圏は、米中貿易摩擦による投資判断の先送りなどにより、受注・販売が減速する見通し。
- ✓ タイ・マレーシアなどでは自動車関連からの需要が継続する見通し。

産業機械事業

- ✓ 国内市場は自動車、電子部品、半導体関連を中心に堅調に推移する見通し。
- ✓ 中華圏およびアジア地域では自動車関連向けの高精度な機械需要が増加しており、堅調な受注水準が継続する見通し。

食品機械事業

- ✓ 高品質な麺需要が引続き見込まれるほか、包装米飯・包装惣菜、製菓など製麺業界以外の販売が拡大していく見通し。

その他事業

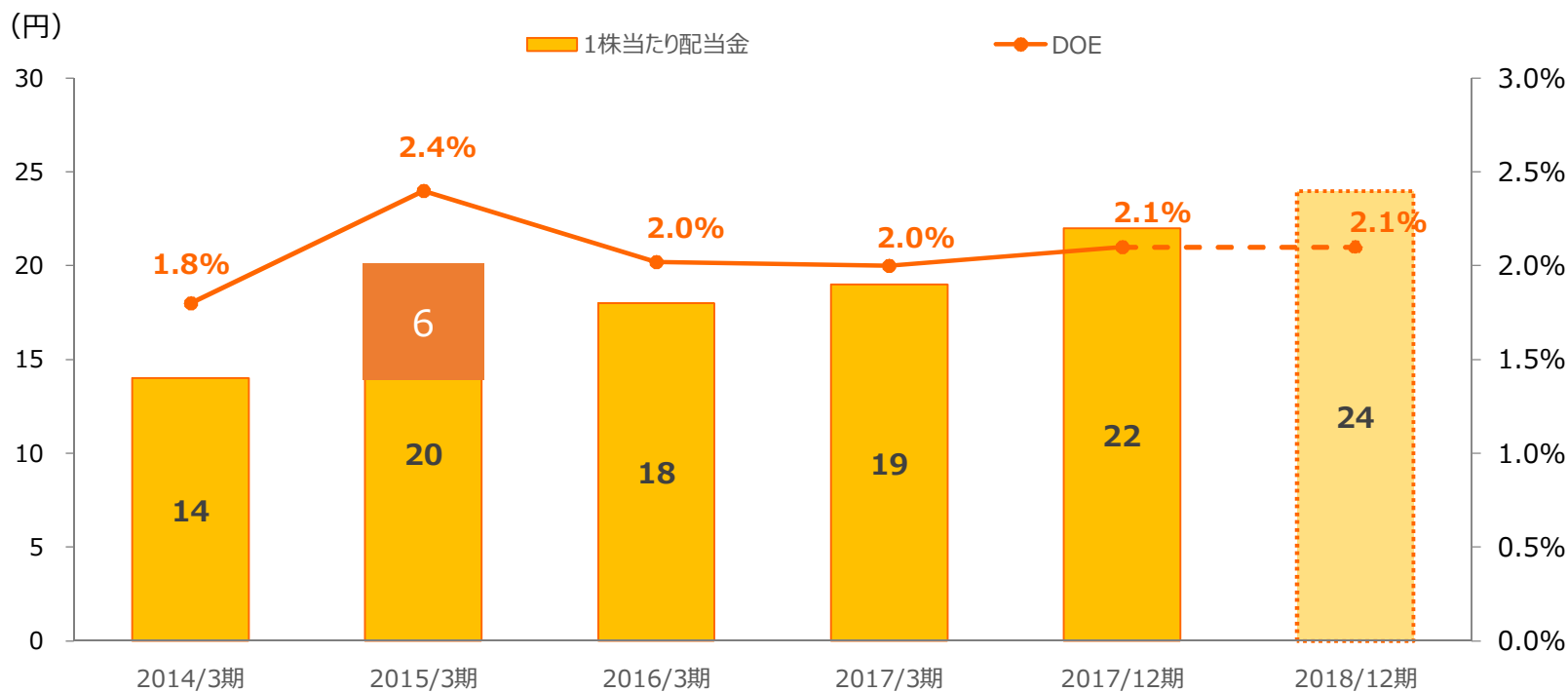
- ✓ 精密金型・精密成形事業及びセラミックスの外販も引き続き堅調に推移する見通し。

※業績予想の修正に伴い、セグメント別通期業績予想についても一部修正しております。

株主還元方針及び配当予想



- ✓ 配当方針：株主資本配当率（DOE）2%以上を目指す。
- ✓ 2018年12月期の年間配当金は、24円の予定（中間12円、期末12円）



一部上場記念
配当6円含む

(参考資料)

国内外の拠点



主な展示会への出展情報

✓ 国内外の展示会へ参加し、積極的な営業活動を展開いたします。

期間	開催地		展示会	概要
2018年				
9/10~15	USA	シカゴ	IMTS2018	世界最大級の工作機械展示会
9/18~22	ドイツ	シュトゥットガルト	AMB (International exhibition for metal working)	
10/9~13	イタリア	ミラノ	31.BiMu (trade fair for metal forming and cutting machines)	
10/31~11/2	日本	名古屋	2018 名古屋プラスチック工業展	
11/1~6	日本	東京	JIMTOF 2018	世界最大級の工作機械展示会
11/8~10	日本	横浜	日本ダイカスト会議・展示会	
11/27~30	中国	東莞	DMP 2018 (国際金型・金属加工・プラスチック・包装展)	
12/5~7	日本	幕張	高機能プラスチック展/ファインテックジャパン	
2019年				
1/24~30	インド	バンガロール	IMTEX2019(Indian Metal-cutting Machine Tool Exhibition)	
2/5~8	ドイツ	ライプツィヒ	Intec2019	
3/4~9	台湾	台北	TIMTOS (Taipei International Machine Tool Show)	
4/15~20	中国	北京	CIMT (China International Machine Tool Show)	
5/8~11	タイ	バンコク	Intermach	
5/14~16	USA	マサチューセッツ	eastec	
5/20~23	USA	ミシガン	Rapid	3Dプリンタの展示会
5/21~24	中国	広州	Chinaplas 2019 (国際プラスチック・ゴム産業展)	
5/22~25	マレーシア	クアラルンプール	METALTECH 2019	
5/27~31	ロシア	モスクワ	Metallobrabotka (international show for the machine tool and metalworking industry)	
6/19~22	タイ	バンコク	Intermold/Interplus	

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社ソディック コーポレート本部 社長室

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL : 045-942-3111 FAX : 045-943-5835